

西風 《2019年7月号》

——西諫早としょかんだより 【No.266】 ——

〒854-0074 諫早市山川町 1-3
諫早市立西諫早図書館
TEL: 0957 (26) 8607
FAX: 0957 (26) 8250

News



雑誌スポンサーが
決まりました!

「ひらまつ斎場」様が雑誌『暮らしの手帖』を提供してくださることになりました。

第161回芥川賞・直木賞候補作が発表されました!

芥川賞候補作 今村夏子『むらさきのスカートの女』・高山羽根子『カム・ギャザー・ラウンド・ピープル』・古市憲寿『百の夜は跳ねて』・古川真人『ラッコの家』・李琴峰『五つ数えれば三日月が』

直木賞候補作 朝倉かすみ『平場の月』・大島真寿美『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』・窪美澄『トリニティ』・澤田瞳子『落花』・原田マハ『美しき愚かものたちのタブロー』・柚木麻子『マジカルグランマ』

図書館カレンダー【7月】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

毎週月曜日は休館日です。

第3木曜日は、館内整理休館日です。



西館日和

毎年、6月から9月までの間に、西諫早図書館に近い中学校と高校から職場体験学習を受け入れています。受け入れるまでにまず生徒本人が、事前打合せのための訪問について電話連絡をしてきます。顔も知らない大人との会話に、緊張している様子がうかがえるのですが、その後、図書館に来て事前打合せを行うと、図書館の様子や担当者の顔が見えて少し安堵の表情に変わります。

体験学習ではカウンターの仕事、本棚の整理、絵本のよみかたり、バックヤードの仕事などいろいろ用意しています。3日間の仕事をとおして、今まで知らなかった図書館の機能、役割を学びます。緊張しながらも懸命に取り組む姿に対して、利用者さんからのねぎらいや励ましの言葉に、とても喜びを感じているようです。体験学習を終えてからもこれからの生活にどんどん図書館を活用してもらいたいと思います。

図書館の中で体験学習の生徒を見かけたら、どうか温かく見守ってください。

分館長 池田

おすすめの1冊

『迷路の外には何がある?』 『チーズはどこへ消えた?』 その後の物語』

スペンサー・ジョンソン/著 (扶桑社)

この本は、『チーズはどこへ消えた?』という本の続編になります。『チーズはどこへ消えた?』は、2800万部を超えるベストセラーとなっている本なので、ご存知の方も多いかもかもしれません。もし読んだことがなくても、今作の冒頭にあらすじが載っていますので、ご安心を。

前作『チーズはどこへ消えた?』は、主人公の「ヘム」と「ホー」が、迷宮の中でチーズを探す物語です。二人はある日、どこからともなくチーズが現れる場所を見つけ、そこを中心に暮らすようになります。だんだんと、そこにチーズが現れることが当たり前になっていく二人でしたが、ある日、チーズが突然なくなります。そこで、ホーは新しいチーズを見つけるために旅立ちますが、ヘムは、いつか元の状態に戻ると信じて、チーズが出てくるのをひたすら待ち続けるのでした。

今作、『迷路の外には何がある?』は、迷路に残ったヘムを主人公にした物語です。ヘムはとても頑固な性格なので、自分の考えを曲げようとせず、戻ってこないホーに怒りを募らせていました。空腹のため仕方なくチーズを探しに行きますが、その旅は、自分の考えを大きく変化させることになります。

内容は寓話ですが、ビジネス書ともいえる話で、人生や仕事の変化に対処するためのヒントが諸所にちりばめられています。まさに迷路に直面し、悩みを抱えているという方にぜひおすすめしたい一冊です。(M)

新刊ピックアップ!

『スペイン巡礼』	渡辺 孝	皓星社
『日本の異国』	室橋 裕和	晶文社
『マネーの魔術史』	野口 悠紀雄	新潮社
『凶解山の幸・海の幸薬効・薬膳事典』	池上 文雄	農山漁村文化協会
『おとなのごはんと一緒に作れる子どものお弁当』	阪下 千恵	日東書院本社
『草取りにワザあり!』	西尾 剛	誠文堂新光社
『大人の水泳』	笹原 辰夫/監修	日本文芸社
『手塚治虫とトキワ荘』	中川 右介	集英社
『むらさきのスカートの女』	今村 夏子	朝日新聞出版
『ライフ』	小野寺 史宜	ポプラ社
『美しき愚かものたちのタブロー』	原田 マハ	文藝春秋



この他にもたくさんあります! 貸出中の本には予約ができます。ぜひご利用ください。